

令和元年度 第2回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：令和2年1月23日（木）午後4時00分～5時00分

場 所：飯山市ふるさと館 体験室

出席者：千坂経悦、望月 武、村松直昭、清水重男委員
長瀬教育長、常田文化振興部長、事務局4名

進 行：佐藤市民学習支援課長

1 開 会

（課 長）令和元年度、第2回運営協議会を開会します。

2 あいさつ

（会 長）例年になく飯山の風景となって、これからの経済に不安が募ります。今年は飯山の歴史に刻まれることがいくつかありました。一つは雪国から甲子園へと、飯山高校が初出場し、生徒たちに大きな自信を与えました。二つ目は水害によって、町の中が今までになく程度の被害を受け、まだまだ片付けに追われているところがあります。あとは、インバウンド、外国からの観光客が多くなって、新幹線駅もどの時間帯でも外国の方がいらっしゃって、うれしく思います。外国の方にも地域の歴史を知ってもらう機会となるので、ふるさと館の施設をもっと積極的に世界へ発信してほしいと思います。

（教育長）今年、ふるさと館の入館者がやや減っているのは、水害の影響もあると思いますが、また入館が増えるよう頑張ってもらいたい。来春から学芸員も一人増えるので、ふるさと館がもっと活発になるよう期待しています。また、ふるさと館友の会の皆さんにもお力添えいただき本当にありがとうございます。まちづくり課でも飯山の寺まちの見直し、葵神社の移転、また新しい企画などを考えているようなので、新しい時代が来ると思います。

3 協議事項（進行：会長）

① 令和元年度事業中間報告について

（事務局）資料に基づき説明

（会 長）質問等ありますか。

（会 長）マンスリースクールでの、凧作りと凧揚げなど、遊びを子どもたちに発信、貴重な体験ができ良いと思う。凧揚げもできたのか。

（事務局）凧作りをした後、なちゅらの庭で凧揚げをしました。

（会 長）飯山の手仕事、わらぐつつ作りなど、作れる人がいなくなってきた。60歳以上の人は、昔わらぐつつをはいた生活体験はあるが。飯山市に赴任してくる新任教員も研修として、子どもたちを取り囲んでいるこの地域がどういう歴史、

文化かを研修していただくことが大事だと思う。

(事務局) わらぐつ作り講座は、大人向けでしたがとても人気がありました。サークル発足とまではなりませんでしたが。今年度、初めてマンスリースクールを月の第一土曜日に実施しましたが、学校、地域の行事と重なり、子どもたちが少ない回もありました。来年度は、名称をふるさと館体験工房として、柔軟に開催したいと考えています。

(委員) 新任教職員研修を6月にふるさと館で実施しました。他に同和問題、文化財めぐりなど今年ではできなかったですが、来年度は研修できるよう校長会でも取り組んでいきたいと思えます。

(教育長) 友の会の会員数は増えていますか。

(委員) 100人くらいに減っています。友の会の活動を今真剣にやっているのは、我々の年代で、だいぶ高齢化しています。

(教育長) 市職員にもふるさと検定を受けてもらうよう庶務課に呼びかけているがなかなか進まない。

(委員) 小学生がふるさと館で学習をしても、親が勉強していない。地区公民館などで親がしっかり勉強すれば、子どもと共通な話題となり良いと思う。地区や集落公民館に、ふるさと館へ来てもらうようPRしてもらいたい。

(事務局) 集落公民館で古文書や歴史の学習会など行っていますが、声をかけていきたいと思えます。

(教育長) ふるさと館からもっと仕掛けることが大事。4月の校長会などでふるさと館を利用してと、講座内容などお知らせしてほしい。

② 令和2年度事業計画について

(事務局) 資料に基づき説明

(会長) 質問等ありますか。

(教育長) 丸山邦雄さんを紹介する企画展、なちゅらで6月13日に講演会もあるので、公民館、ふるさと館連携して、写真などの展示で紹介していくよう、できるだけやってほしい。丸山さんのことを漫画にして、小学生に配布し広めたい。漫画については、すぐには出来ないので1年後くらいで考えている。セカンドスクールも水害や雪が少ないことで、飯山離れになってしまうのではない心配していますが、民宿の方の意見は何か聞いていますか。

(事務局) セカンドスクールも、バス代が高くなって、費用もぎりぎりで行っているようなので、無料の施設があればと観光協会の方が言っていました。市外の子どもを無料にして、飯山を好きになってもらう方がいいと思えます。

(委員) 市外の子どもを無料にする条例ができれば、子どもの興味ももっと出てくると思う。

(事務局) 今年も、長野市の学校から予約があったが、水害でキャンセルになりました。市外の学校は、大体ふるさと館、伝統産業会館、紙漉きとローテーションで体験見学しています。子どもを無料にする条例化ができなくても、教育長権

限で運用できる方法もあるので考えていきたい。

(会 長) 昔の火起こし体験などがあるが、もっと近い昭和の生活を思い出させる体験はどうか。氷の冷蔵庫、手回しの洗濯機、祖父母の子どもの頃の遊びなどを紹介したらどうか。

(事務局) 専門家を呼ばずにできる体験を考えています。また、いろいろ考えていきたいと思います。

(会 長) 他に、学校からの要望はありますか。

(委 員) 市のバスもなかなか空いていないので、クラブ活動や授業の出張をしてもらえると嬉しい。以前、出張講座で、黒曜石など触らせてもらう機会があり、子どもたちも喜んでいて。ふるさと館では道具に触れられるという、他の施設にはない良いところがある。校長会でも出張講座を利用するよう要望を出していきたい。また、ふるさと検定も有難い。賞状をもらえることで子どもの励みになる。ふるさとを学ぶことは大事で、飯山市の学校では、どこでも米作りをしているので、わらが出る。わらを使ったわらぞうり作りも面白いと思う。それをふるさと教育に結び付けていく。わらだけでなく、なんでも無駄にしないで暮らしていたことが、総合的な学習につながっていくと思います。わらを使った納豆作りとかもよいと思います。

(事務局) クラブ活動とかの出張講座に、ぜひふるさと館へ声をかけていただくようお願いいたします。

4 その他

(事務局) この3月31日で、委員さんの任期が一区切りとなります。また、各団体に推薦依頼しますのでよろしく申し上げます。

5 閉 会

(課 長) それでは、これで第2回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。